

CDM植林・カーボンオフセットにご関心がありますか

これまで財団法人国際緑化推進センターでは、数多くの個人、企業、団体の皆様から寄せられた寄附金等をもとに、東南アジアの国々で約5,300haの森林を造成して参りました。

人工林1ha当たりのCO₂吸収量を年間17トン*とすると、この5,300haの森林が吸収する二酸化炭素(CO₂)の吸収量は、年間約9万トンと推定されます。

これは乗用車7万5千台が1年間に排出するCO₂を相殺(オフセット)していることになります(乗用車1台の年間CO₂排出量は1.2トン**)。

* : 当センター: インドネシアロンボック島小規模植林モデルPDDより

** : ガソリン燃費10km/リットル、年間走行距離5,000km、排出係数2.32(kg-CO₂/l)より計算



インドネシア 南カリマンタン州



インドネシア 西スマトラ州

これら個人、企業、団体の皆様と一緒に達成してきた植林活動を、さらに意義のあるものとして評価していただくよう、今後、国際緑化推進センターでは、皆様方のご要望に応じ、以下の取り組みを行います！

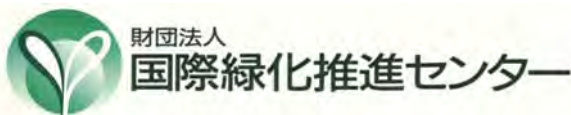
- 1 実際に植林した森林の二酸化炭素吸収量を推定し、国際緑化推進センターが”吸収量認定証書”を発行します。
- 2 ボランティア・カーボンマーケットにおけるVER(Verified Emission Reduction)を目的とする植林事業であれば、運営機関に申請し、登録を目指します。
- 3 国連気候変動枠組条約、京都議定書への貢献を目的とする植林事業であれば、「CDM植林プロジェクト」として申請し、登録を目指します。

皆様のご参加をお待ちしております！

国際緑化推進センターのCDM植林に関する実績

- ・インドネシア 南カリマンタン州 モデルPDD作成(林野庁補助事業)
- ・ベトナム マングローブ植林モデルPDD作成(東京電力からの委託事業)
- ・インドネシア ロンボック島 小規模植林モデルPDD作成(林野庁補助事業・東京木工所寄附金)
- ・パナマ コクレ県 小規模植林モデルPDD作成(林野庁補助事業)
- ・インドネシア 南カリマンタン州 CDM植林モデル候補地の選定(林野庁からの委託事業)
- ・CDM植林人材育成研修、国内124名、海外213名(林野庁補助事業)

お問い合わせ・ご相談は



〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル3F
電話: 03-5689-3450 FAX: 03-5689-3360
Email: jifpro@jifpro.or.jp URL: <http://www.jifpro.or.jp/>